

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度 第 1 回五霞町総合教育会議
開催日時	平成 29 年 6 月 20 日（火） 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分頃まで
開催場所	五霞町中央公民館 2 階 A 研修室
出席委員	町 長 染 谷 森 雄（会議議長） 教 育 長 千 葉 道 子 教育委員 増 田 清 教育委員 鈴 木 昇 教育委員 小 村 隆 宜 教育委員 石 塚 和 実
事務局	総 務 課 課長 山 中 一 郎 主幹 鳩 貝 浩 之 主査 中 里 善 匡 教育委員会 次長 猪 瀬 英 子 主幹 山 田 浩 主幹 堀 山 康 行 主幹 駒 一 弘
会議次第	1 開会 2 町長挨拶 3 議題 （1） 圏央道 IC 周辺地域の進捗状況について （2） 平成 29 年度の主な取組について ・学校教育関係 ・生涯学習関係 （3） その他 4 閉会
配布資料	平成 29 年度 第 1 回五霞町総合教育会議次第 ネクストコア五霞（圏央道 IC 周辺地域開発計画パンフレット）
会議の公開	公開
傍聴人数	0 人

議 事 録

発言者	会議要旨・決定事項
鳩貝主幹	皆さんこんにちは。大変お疲れ様でございます。定刻前でございますが、皆さんおそろいになりましたので、ただ今から平成 29 年度第 1 回五霞町総合教育会議を開催いたします。 申し遅れましたが、私、本日の進行を務めさせていただきます、総務課の鳩貝です。どうぞよろしくお願いします。それでは、まず始めに染谷町長から御挨拶を申し上げます。
染谷町長	改めましてこんにちは。本日は、平成 29 年度の第 1 回五霞町総合教育会議ということで、委員の皆さんには何かと御多忙の中、御出席いただきましてありがとうございます。また、日頃、本町の教育行政に対しまして多大なる御尽力を頂いておりますことをこの場を借りて御礼申し上げたいと思います。 新年度に入りまして、早いもので 2 か月が過ぎたところでございます。子供たちの方も順調にそれぞれ進級し、それぞれの学校生活を送っているんじゃないかと思います。本年度のスタートに関しては、大きな事件もなく、皆様の多大なる御協力のお陰と思っております。御礼申し上げます。 そういう中で、日本全体を見ますと、身近なんです、千葉県でベトナム国籍の小学校 3 年生でしたか、殺害されるという悲惨な事件が起きてしまいました。事もあろうに、本来、保護者として守るべき人であり、地元からすればいい人であったということなんです、保護者会の会長さんであったというショッキングな事件だったわけでございます。 本町においても、防犯についても行政の方もいろいろ進めておりますが、いつなんどきそのような状況になるか分かりませんので、気は引き締めていかなければならないと思っています。 教育委員会の関係ではですね、例の茨城県が舞台の、坂東市もそんな関係で出ていたんですが、取手市の中学 3 年生でしたか、いじめによる自殺というショッキングな事件があったわけですが、問題は教育委員会と学校が絡んでの隠ぺい工作。なかなか、いじめがあったのか、なかったのかの判断は難しいんでしょうけど、「ない」という思いで見ればこれはないし、「ある」という思いで見ればあるようになる。 そのようなところが、調査会でしたか、どちらかというと教育委員会主導型での隠ぺいだというようなお話で、親からの「もう一回調査

をしてほしい」ということを、逆にそれを認めたということなんです
が、特にこの総合教育会議の方はですね、首長が入り、主宰である
ということですので、その初動の対応をいかに迅速に行うかを求めら
れているのが、総合教育会議ではないかと思うわけです。

よそのことではありますけれども、これらもまた一つ教訓にして
ですね、本町の教育行政をしっかり進めていけたらと、このように感
じたところでございます。総合教育会議の方にも関係することでご
ざいますので、皆さんもこれらを教訓にさせていただいて、いろいろ進
める中で御留意いただければと思います。

本日の報告の中であると思いますが、学校環境を整える、これは行
政の仕事でございまして、一番課題でありました空調関係につきま
して、3校にですね、報告もあろうかと思いますが、空調を入れると
いうことで入札も終わりました、5千万以上の工事額でありますの
で、先般15日に終了したんですが、議会の方で承認を頂いたと。

空調、スクールバスの1台購入ですね、これもやはり議会の議決
を頂いたところでございます。まだまだ本年度の事業の中でも、これ
からも教育関係の部分はたくさんあろうかと思いますが、空調の方
も「いつ施工するんだ」と、議会の方からも逆に「急げ」と言われて
いるんですが、なかなか勉強に差し支えないような形で工事してい
くとなると、どうしても夏休み期間中が一番効率化になるのかなと
思いますが、できるだけ教育委員会でも早くということ、業者の方
にお願いさせていただいているところでございます。空調が入りま
すと、いろいろ教育環境も変わろうかと思っています。

長くなりますが、防災ステーション、中之島公園の手前に「情報防
災ステーション五霞」という名称で、約60坪ですが、建設された
ところ。これは、国の方が、防災教育を含めて力を入れたいとい
うことで、管轄は、江戸川河川工事事務所、野田にあるんですが、要
は上は国交省なんです、大分力を入れていただいています。

あの中には展示物は、町で用意した物がある程度なんです、国
の方の予算で展示物を入れていただけると。それから情報コーナー
ですが、テレビといいましょうか、道の駅にありますね、情報コー
ナですね。あのような形でいろいろな情報がテレビで見られるとい
うことで、それも設置いただけると。

それから、床にもですね、「五霞の水との戦い」ということで教材
を用意していただけるということで、国の方も力を入れていただ
いております、今日午前中に道の駅でもお話ししたんですが、イン

	フラツリズムということですね、御承知のとおり庄和町にですね、外郭放水路がありますね。あれが観光スポットになっていると。 これと五霞の山王の防災ステーション、そして関宿城、そして道の駅ごと。これをパッケージしたツアーに国の方が力を入れていると。特にその中で、子供たちに防災を勉強してもらうよう教育という面でやっていきたいというのが、国の方の方針でございます。 国がやりますので、幅広く教材という形であそこを訪れる方もあろうかと思いますが、まず最初に地元である五霞の人にですね、五霞の子供たちに、防災ステーションを使つての歴史的な五霞の町の水との戦い、これらを勉強していただきたいと。今後、具体的には、担当と詰めさせていただきますが、教育委員会もまずはそれを実施していただければと思っております。 町の方もちょうど、今日もインター周辺開発の方の説明も頂きますが、午前中見ていましたが、車の量も多くなりました。それから、今、杭を打ち込んでいるんでしょうか。いろんなクレーンが、相当台数あそこに入っています。これが来年の10月で、G L Pの方は完成いたします。 そういう中で、あの周辺は、子供たちの通学路にもなっています。当然、そういう面にも十分配慮していきたいと思ひます。あそこが完成すると通学路、子供たちの安全をどうするか、今日は担当課の方も見えておりますけども、いろいろ歩道橋とかですね、信号とかこれらも含めて、皆さんから御要望いただいて検討していけたらと思ひます。 当面は東小ですか、あそこには御迷惑をお掛けすることも多々あろうかと思ひますけれども、子供たちの安心、安全のためには、みんなで協力して工事期間中は務めていただければと思ひます。 そういうことで、今日は議題の方として、その他を入れて三つ御協議いただくわけでございます。どうか一つよろしく御協議いただきますようお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。大変御苦勞様でございます。
鳩貝主幹	それでは会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきたいと思ひます。お手元にお配りしてあります、今回の会議の次第、それともう一つはパンフレット、ネクストコア五霞、こちらの方の資料を使いまして、今日の会議を進めさせていただきたいと思ひます。 なお、今日の会議の中ではですね、この後、町執行部の方から圏央道の周辺開発の状況について説明させていただきたいと思ひまし

	て、都市建設課の職員の方も同席させていただいておりますので、御報告の方させていただきます。 それでは、3 番の議題に入らせていただきます。進行につきましては、総合教育会議の設置要綱にございます規定によりまして、町長の進行でお願いします。
染谷町長	はい。それでは、早速でございますが議事に入らせていただきます。まず、議題(1)の「圏央道 IC 周辺地域の進捗状況について」今日は、都市建設課から課長と室長が見えていますので、説明いただいて、後ほど御意見いただければと思います。説明をお願いします。
田口課長	それでは、私の方から圏央道 IC 周辺地区の進捗状況についてということで、御説明の方をさせていただきたいと思います。本日は、このような機会を設けていただきまして、大変ありがとうございます。 まず、説明に入ります前に、私どものスタッフの方を紹介させていただきたいと思います。私、都市建設課長の田口でございます。それから、隣が IC 周辺推進室長である大橋でございます。
大橋主幹	よろしくお願いします。
田口課長	担当の大島副主幹です。
大島副主幹	よろしくお願いします。
田口課長	では、早速、説明をさせていただきたいと思います。まず、お手元にネクストコア五霞という、このようなパンフレットがあると思います。そちら一枚めくっていただきまして、見開きになっているかと思ひます。開いていただきますと、図面が出てまいります。 私の方から概要を説明して、担当の方から詳細についての説明をさせていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。まず、お手元に図面があるかと思ひます。まず、事業名でございます。五霞インター周辺地区土地区画整理事業というようなことで、こちらは、業務代行方式というようなことで、組合施工の区画整理事業でございます。 期間につきましては、平成 26 年から 31 年というような期間で、今、事業の方を進めさせていただいているというような内容でございます。まず、先ほど町長からの挨拶でもありまして、今回、工事は一番最盛期というふうにとらえているところでございます。今年度がヤマかなと思ひております。来年度になれば、工事の方も落ち着いてくるんじゃないかと思ひております。 今年度、ハード面が落ち着きますと、中の企業さんの建設が始まってくるというような状況になってございます。区域内の面積でござ

	いますけども、37.1ヘクタール、うち分譲面積が24.9ヘクタールでございます。 現在は、造成、それから道路工事、橋梁などの工事を行っております、事業費ベースの進捗率でございますけれども、約6割というところまで来ているところでございます。 この中、幾つかのブロック、A、B、Cというようなブロックに分かれておりますけども、このうちCブロック85,100平米、これにつきましては、G L P、グローバル・ロジスティック・プロパティーズという外資系の企業が、もう、建設に着手しているところでございます。 それから、お隣の8,800平米というふうに書いてあるかと思うんですけども、2,700坪の土地でありますけども、こちらにつきましては、埼玉県に本社を構えております朝日ロジスティックという物流系の会社ですけれども、そちらの進出が決まっております。 それから、道の駅の反対側、南側になりますか、Aブロック51,700平米というような土地があるかと思うんですけども、こちらにつきましては、清水建設で物流施設を建設して、そこに賃貸の物流テナントを設けるというようなことで、こちらが決まっております。 内容につきましては、担当の方から、区画整理事業の具体の工事の状況、それから、通学路の関係で通学路の安全対策をどのようにしていくのか、というようなお話をさせていただきたいと思います。それから、先ほど幾つか申し上げましたとおり、契約されている企業、決まっておりますので、そちらの工事の状況はどうなっているのかというようなことを含めて、説明の方をさせていただきたいと思います。 説明した後に、皆さんの方から御意見、御質問等あれば、お受けしたいと思いますのでよろしくお願いします。では、担当の方でさせていただきますのでよろしくお願いします。
大島副主幹	都市建設課 大島と申します。よろしくお願いいたします。後ろ側に図面を用意させていただいております。そちらの方を使って説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。 都市建設課で持参した土地利用計画図を用いて説明 ・道路、橋梁関係は、平成29年度に工事完了の予定で施工中 ・土地区画整理事業地内の道路の整備予定（車道幅員、歩道幅員、

	通学路になる道路の歩道の整備予定など。)について説明 ・地区（各ブロック）の造成の状況について説明 ・区画整理事業地内の各ブロックへの進出企業、工事の着工予定について説明（商業系の誘致希望区画では組合の方に話をしているが、こちらは契約に至っていない。） ・交差点の信号機の設置要望状況について説明（要望している機数が多いので、優先順位を付けて、竣工予定の早い区画から必要になる部分に設置していくことで調整していく。） ・県道西関宿・栗橋線の拡幅工事について説明（拡幅工事の一部（ライスセンターまでの土地改良区の三面水路の撤去工事を含む。）を町で施工する。）
田口課長	若干の補足説明をさせていただきたいと思います。
大橋主幹	大橋です。よろしくお願いします。若干の補足の方をさせていただきます。Cブロックの工事について、GLPの方で始まっているところですが、工事車両、特にダンプがですね、多く走ってくると。基本は、こちらの新4号国道、こちらから入ってきていただきたいという話をしております。 ただ、現在は許可を取っていただいて、県道の方から出入りするような状況が多くなっています。先ほどから話が出ていますが、通学路となっていますので、基本的には登下校時には、工事車両の出入り口にガードマンを付けていただいて、子供たちの安全を確保していただくというような形でやっております。 平成30年2月以降は、都市計画道路の供用が開始される予定ですので、工事車両もそちらから入るようにしていただくように考えていますので、御理解いただければと思います。
増田委員	（図面を指して）小学校の正門はどこですか。図面に公園とありますが、その辺ですか。 （大橋主幹において、図面で正門の位置を示す。）
染谷町長	室長、太鼓橋の件についても、分かっている範囲で話してください。
大橋主幹	はい。太鼓橋については、現在、通行止めということでやらせていただいております。今の時点で車両の通行止め、そして、子供たちとかですね、自転車あるいは原付のバイクなどは通れるようになっていきますけれども、一応ですね、ゆくゆくは町の方で撤去したいというような方向で考えております。

	ただ、それにはですね、国との調整でありますとか、あるいは費用の問題など、こういったものが非常に大きなものですから、すぐにできるものではないと考えております。 撤去までの間にですね、国の方に「別の歩道橋を設置できないか」というような要望をさせていただいております。こちらの撤去については、どこに歩道橋が付くか分かりませんが、歩道橋を設置することができる、ということが確実に決定してからですね、撤去の方をしていきたいというように考えております。 今のところは、撤去は予定していますけれども、いつになるかはまだ時間が掛かるかなと思います。その間、区画整理の工事が終わった時に、どのような形状になっていくのか、というような話になっていくと思います。基本的には、今の状況と同じ形で、車は通さないような形で、人と自転車と、そういったものが通行できるような形にしていきたいと。当面の間、そういった形で対応させていただきたいと考えております。 ただし、橋の袂付近に農地がありまして、耕作している方々がいらっしゃいます。こういった方々を無視するわけにはいきませんので、農繁期の1～2週間、田植えの時期ですとか稲刈りの時期、こういった部分については、農耕車だけが通れるような形で、これは当然、事前に皆さんに周知させていただくんですが、そういうことで対応させていただきたいと考えております。 私の方からは以上です。
染谷町長	ただ今、インター周辺地域の進捗状況についての説明を頂きました。これらについてですね、皆さんの方から何か御質問等ございましたらお聞きしたいと思います。
増田委員	私の方で、教育委員として気になるのは通学路の問題です。今現在、太鼓橋、これを渡っているわけですが、これまでは、幸主地区の子供たちについては、道の駅の所を通っていたと。それで、冬木とか原宿台の子供たちについては太鼓橋を渡ると。 ところが、今、「道の駅の所は通ってはいけない」ということなものですから、幸主の方の子供たちはですね、低学年はバスですけど、それ以外の方はですね、冬木の六軒新田という所を通って、太鼓橋まで来て、太鼓橋を渡って学校へ行くと。かなり遠回りしているわけです。 今の説明ですと、東小の通学路の問題、特に歩道橋ができるかできないか、まだ決定的なものではない。ただ、町としては、果たして青

	写真があるのかどうか。今、これを見ますと、公園の先がですね、小学校の入り口となっている。 今まで考えていたのは、国道４号線がありますけども、４号線から学校の入り口までストレートに、陸橋を掛けてもらってストレートに道路が行くのかな、というように思っていましたけども、この地図を見ると、このＣブロックにＧＬＰの会社が契約したと。 そうすると、このＧＬＰの工場のできるど真ん中を道が通るわけではない、ということになりますよね。では、この通学路はどうなるのかということで、この辺の町としての考え方はどうなのか。
大橋主幹	通学路ということで、今の状況ですと、先ほど説明したように、どこかに歩道橋を付けたいという思いはあります。ただ、それをどこに付けるのかと、どこに付けて、渡して、子供たちを回していくのかと。ちょっと遠回りになってしまうんですが、そういう形を、どこかで形状を作ってあげたいという思いはあります。 ただ、それには、冬木橋の撤去、これにケリがつかないと先に出ません。財政上の問題等もありまして、また、国との協議の関係もありますので、先ほど言ったようになかなか作業が進まない部分もありますので、当面の間はですね、冬木橋は歩行者自転車だけが通れるような、今の状況の中で渡っていただくと。
染谷町長	増田委員さん、一番の肝心な部分はですね、この新４号ありますね。この五霞の区間が、国は全部立体化で計画してるんですよ。今、大橋君の方で説明があったように、太鼓橋の所から来る場合はですね、当然、立体になると問題になるのは、このＢブロック。 ここに、商系を誘致したいということで、住民の皆さんの希望が一番多かったものですから、それをやるのには、道路から平面で右折して入れるように、下り車線なんですけど、下りの車が右折して入れるように。 そういうことで、あの太鼓橋の所、国の方で許可が出れば、本格的に、次の、歩道橋をどこに付けようか、そういう形で進めていけるんですが、まだその答がですね、まだ国の方から下りてきていないものですから、なかなか次の計画が立てられない面があるんですが、取りあえず、当初要望したのが、「新４号は全部立体でお願いします」ということで要望していましたから、ですから道の駅の信号の所も、また元のとおり立体になって下を通れると。 ただ、その先の太鼓橋の所は、できたら平面から商系のエリアに入れるように、ということを希望しているものですし、商系もできたら

	そうしてほしいという希望が多いものですから、今、国と道路設計の方を交渉しています。その方向性が出れば、次は通学路をどうしていくかという話になるわけなんですけど、現状はそういうです。
増田委員	はい、よろしいですか。そうすると、太鼓橋の撤去がいつになるかは、まだはっきりしていないわけですね。撤去した場合は、そこは平面交差になるということですね。信号ができて、という形になるわけですね。そうすると、冬木、原宿台の子供たちは、平面交差の所を横切って、横断して通学することになるということになりますね。
大橋主幹	太鼓橋を撤去した場合に平面交差という話なんですけど、一応、撤去しなくても、右折、左折の機能を持たせると。交差点といいますか、T字路といいますか。
増田委員	いや、撤去するという話だったでしょう。
大橋主幹	はい、最終的には撤去することになります。
増田委員	だから、撤去したときの話をしているんですけど。
大橋主幹	撤去するときには、どこかに歩道橋を設置できるように国に対応をお願いしていると。
増田委員	撤去する前に歩道橋を付けると。
大橋主幹	歩道橋を設置したら、こちらの太鼓橋を撤去すると。
増田委員	太鼓橋のすぐそばに歩道橋を付けるならいいけれど、こっちのガソリンスタンドの方に付けたのでは、冬木、原宿台の子供たちは遠回りになるのではないかと。付けるのであれば、撤去する橋のすぐそばに付けてもらわないと困る。
大橋主幹	その歩道橋の設置場所については、国と交渉しています。
増田委員	それから、幸主の方の子供たちの関係は、今、工事をしているから暫定的に遠回りになるけども、努力して勘弁してくれよという形で教育委員会としてお願いしているわけですよ。 町長の話を見ると、道の駅の所が立体交差になると、また隧道（ずいどう）になると。そういうことになれば、幸主の方の子供たちは、今までどおり道の駅の隧道を通っていくというのと二系統の通学路にしたらどうなのでしょう。
染谷町長	一番いい方法を後ほど検討してもらおうと。
増田委員	私個人の考えですけども、そうするのがいいのかなと。
染谷町長	通学路は、学校とPTAとよく相談してもらって、一番最短の安全な所を選んでもらおうと。歩道橋も、どこが一番適切な場所なのかを検討させていただきたいと思います。
増田委員	もう一点よろしいですか。

染谷町長	どうぞ。
増田委員	道の駅の横の道路ですが、裏側でなく。今は、真っすぐ通っているでしょう、今現在は。それを左側に湾曲させる理由というのは、何なんでしょうか。
田口課長	河川区域になっているんです。
大橋主幹	今通っているこの道、町道 5 号線というんですけれど、これが道の駅の横を抜けていくんですけれども、ここに五霞落とし川が流れてまして、これの河川区域の中に入っている道路だったんです。茨城県から借りているような道路だったんです。 そういったこともありましたので、これをずっと借りて拡張するよりは、新たに、通学路の兼ね合いもありましたので、小学校にも近いような、幸主の子供たちが通学路を利用する場合に、少しでも短くなるようにという考え方も含めて、都市計画決定をしたと。
石塚委員	歩道が幅広く取れると思うんですけれども、車道と歩道を分離するのは縁石だけですか、ガードレールですか。
大橋主幹	基本的には、縁石だけでやっていきます。
石塚委員	今、通学途中にいろんな事故が、白線だけの所で起きていたり、かなり悲惨な結果を招いているので、これだけ交通量が増えるというのであれば、できましたら子供たちの安全のために、ガードレールにすることも考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。
小村委員	確認なんですけど、県道西関宿・栗橋線は、大型車は通らなくなるということでもいいですか。
大橋主幹	県道につきましては、現在、新 4 号国道から西谷地区、江川の土塔、桜井、それから本村地区、ということで経由して幸手市ですか、そこまでを大型の通行規制をしていると。 それでですね、このような区画整理ということでやらせていただきましたので、区画整理事業地内は、ほとんどの道路が、大型車が通行可能な道路の整備をしているということがありますので、基本的には、できればと言いますか、ほぼ確定なんですけど、新 4 号国道から西谷、土塔を経由して土地区画整理事業地内に入る都市計画道までの区間について、同時期に、平成 30 年の 2 月を目途にですね、規制の解除を行っていききたいと。 そして、区画整理事業地内の道路とループ化を図って、交通の利便性を上げていきたい、というふうに考えています。ただ、子供たちの安全を第一に考えなくてはならないと思いますので、できる限りここに進出する企業さんに対しましては、規制を解除しますけれども、

	新 4 号国道から都市計画道路を通っての通行の方をお願いしたいと思っております。
染谷町長	県道については、大型規制になっているんですけども、五霞町にとっては、西関宿・栗橋線は幹線道路になっています。たまたま、江川の一部が狭隘ということで通行止めにしてあるんですけども、こういった企業が進出してきていただくという形になると、大型が通れない県道というのは、町の発展のためにはいかなものかということで、元の埼玉農機さん、今はワコウ運輸さん、やはり物流会社さんなんですが、あそこからも「規制解除してほしい」という要望が出ておまして。あの会社の車だけは、許可を取っていただいて通れるようになっているんですが。 また、江川の住民からも、大型が出入りする場合があるということなので、何とか狭隘部分を拡張できるように担当課の方でもですね、何とか拡張できるように、工事自体は県道なので土木事務所なんですが、お願いして、今後、あそこが幹線道路なのに大型車が通れないというのは、町の発展にも影響が出てくると思われるので、今後検討していきたいし、もちろん通行するには安全面に十分注意していただきたいなど。 先ほど説明があったように、完成した暁には、あそこ（新 4 号国道から区画整理事業地内へ至る都市計画道路との結節部）までは、大型車は可となるように、今、進めているところです。その先は、右折して新 4 号国道に抜ける道があれば、警察の方も許可を出すそうなんですが、あの先に行ってしまうと抜け道がないということで、現状はそういう状況です。
千葉教育長	I C 周辺の進捗状況について御説明いただきました。ありがとうございました。私もですね、「どのくらい変わっていくかな」というのを見ながらですね、時々あの周りを見学させていただいているんですけども、短い期間にどう変化していくのか、大変子供たちにとって興味深いものですし、歴史的な一瞬であると思うんです。 私たち大人が、「早く開発してほしい」と思う、という中であって、子供たちに体験型見学をさせていただいたり、昨年は発掘現場の見学をさせていただいたりということで、郷土の学習、そして、また、自分たちがこれから生きていくためのですね、力ですかね。先祖が、こうして守ってきた土地をこれからまた更に有効に活用していく。そういう学習もあると思うので、是非ですね、見学ができるときは、見学をさせていただければと思っています。

	先ほどから、小村委員さんからもあったんですけども、後から道路を広げるとか、後から何かってなると後付けになってすごく大変になると思うんですね。ですから、10.5メートルが、これが幅が狭いのか広いのか、それから2.5メートルの歩道ということですが、これが十分なのか分かりませんが、後からは付けられないと思うので、十分検討していただいたと思うんですが、こういうことも含めて更に検討していただきたいと思います。 また、先日、挨拶運動が東小の正門前であったんですが、大型車でなくても、朝は結構スピードを出して走っていくと風圧を感じるんですね、立ってまして。大人だったら安全な内側を通ると思うんですが、子供は命知らずですから、縁石に乗らないまでも、すれすれの所を歩いていることがございます。 ですから、そういった、この開発区域となりますと、安全面を考えていただきまして、ガードマンを設置いただいていると思うんですが、いつまでもいるわけではありませんので、安全面に配慮していただければと思います。
田口課長	貴重な御意見を頂きまして、大変ありがとうございます。我々担当としまして、今の御意見等を踏まえながら、業者の方とも話し合いの方をさせていただきたいと思います。 委員さんからもありましたとおり、子供たちの安全対策には十分過ぎるほど今後もやっていきたいと思っております。業者の方につきましては、十分な指導、それから設置後もお願い、協力をしていくつもりでおりますので、よろしくお願いします。 それから、教育長の方からお伺いがありましたとおり、機会があれば、先月ですか、見学会ということで快く子供たちに見ていただいて、貴重な体験をしていただけたかなと思っておりますので、そのような機会がありましたら、またお声掛けの方をさせていただきたいと思っておりますので、その節は御協力の方を、逆に我々の方からお願いします。以上でございます。
染谷町長	はい、ありがとうございました。では、この件についてはよろしいですか。 （「はい」の声） それでは、都市建設課の方については退室いただきます。
田口課長	ありがとうございました。

染谷町長	それでは、続きまして議題(2)の方に入らせていただきます。平成29年度の主な取組について、教育委員会から説明をお願いします。
山田主幹	(山田主幹により「学校教育関係」に関し、資料に基づいて説明) ・空調設備の工事については、夏休み中、9月末日までには工事を終わらせたいと思っている。 ・スクールバスの購入については、1台が平成3年車ということで1台の買い替えをするもの。 ・中学校の教育用パソコンの再構築については、平成24年度に構築したもののリースが、8月31日に切れるため。 ・教育活動指導員については、原則、教員免許が必要である。また、教育活動指導員としての経験がある人も募集に入れている(増田委員からの質問に答えたもの)。 ・メンタルフレンドについては、対象は小学校1年生で一人である。中国語しか話せない、日本の文化になじめない児童を見るとのこと(小村委員の質問に答えたもの)。
中川指導主事	(中川指導主事により「特色ある教育の取組について」に関し、資料に基づいて説明) ・各校の教頭先生からこれらの報告書を上げてもらっているが、各校それぞれが地域との結びつきを重視していることが伺える内容である。これら3校が、地域の結び付きを重視していることが御理解いただけたと思う。
堀山主幹	(堀山主幹により「生涯学習関係」に関し、資料に基づいて説明) ・うたごえサロンは、コールみずきの6人で構成されている。 ・「ラジオ作り」について小村委員から質問あり。 この事業を毎年やることはできないか、又は授業の一環として入れてもらえればと思うがいかがか。 →募集人員について、40人までであれば、もう20人プラスであれば、次の日の8月9日に実施可能であるという返答を頂いている(堀山主幹)。
駒主幹	(駒主幹により「茨城国体の準備状況について」に関し、資料に基づいて説明)
染谷町長	ただ今、平成29年度の取組について御説明いただきました。まず学校教育関係につきまして、何か御質問がありましたらお願いします(各委員からの質問事項については、上に記載)。 そのほか、ございますか。夏休みの子供教室、これはどんなことをするのですか。体験学習ということだと思いますが。

堀山主幹	4～6 日間の中で、1 日ずつ内容を変えてやろうというふうに思っています。なので、1 回だけ好きなものに参加してもらってもいいですし、6 回全部参加いただいても構わないかなと思っています。 ここに書いてあるほかは、野菜の収穫体験と料理教室でありますとか、その辺も考えています。ほかは、今、詰めている最中です。
染谷町長	そのほかは何かありますか。
増田委員	防災ステーションの下の所にトイレがありますでしょう。その駐車場の所に、ワンボックスの黒い車が 2 台停まっています、その車は動いていないように思えるものですから、防犯の観点からもうにかしないとならないと思うんですが。
染谷町長	確かにですね、当初は道の駅にいたんですよ。トイレがあり、電気も使えてしまう。「あそこではまずい」ということでお願いして、「どこへ行ってください」とは言わなかったんですが、道の駅を退去したら、今の堤防の下へ行ったと。 あそこは、やはりトイレもあるし、水は出ますから。お風呂は、ひばりの里に行っていると。地元からも、地区別懇談会でも、やはり「排除してほしい」と要望は出ていますが、警察にもお願いするんですけども、強制ができないと。 まして、あそこに家でも作ったなら話は違うんですが、車上ということで、移動が可能だと。タイヤがパンクしているのかと思えば、そんなことはない。ただ、ほとんど乗っていないです。発電機も用意している。 セーフティマイタウンチームの人たちも毎回行って話しているそうですが、地域で物を盗んだり、野菜を盗んだりということは全然ないそうですし、それは強く言ってあると。 何かの機会がないと立ち退いてもらえないので、今回、強化堤防事業がちょうど掛かりますので、あそこがその区域に入ってきますので、その時には、あそこが今の半分くらいになりますので、そういうことで予定していますが、庄和の道の駅にも 5 台くらいありますから。パンクしてしまって全く動かない車が。 うちの町の方はまだ若いみたいなんですね。30 代から 40 代くらいで、たまに親が来るらしいですよ。町の方も危機管理はしているということで、御理解いただきたいと思います。 そのほかございますか。無いですか。無いようでしたら、協議事項(2)の平成 29 年度の主な取組については、以上で終わりにさせていただきます。続いて(3)のその他について、全般を通してまずは事務

	局の方からは、何かありますか。
猪瀬次長	事務局からは、特にありません。
染谷町長	特別無いようでしたら、私の方から提案させていただきたいと思うんですが。その他として。実は、この総合教育会議、今では御承知のとおり、教育長さんを中心に教育委員会で運営し、首長は介入しないというのが理想だったんですが、今度は新しい制度になりまして、長がこれを主宰するという形に変わってきまして。 国の方にも幾つか課題がありまして、少子化が大きな課題なんですが、それらについて、ほかにもいじめの問題。これらも、首長が居て、やはり迅速に取り組む。これが必要だというのが狙いですが、それと付随しまして、今回、少子化に向けての学校の統合問題。これを国は決して「しろ」とかどうかという方向付けはないんですが、一応、各自治体でこれらについても協議してくださいということでのテーマを出されております。 教育会議の方もですね、発足して 2 年目が経ちます。そういうことですので、今後ですね、これらにつきましても、五霞町も一般質問の方で出ますけれども、統合問題としてどう考えてくのか。教育長にもそれなりに答弁を頂いております。 ただ、一応ですね、御父兄の皆さん、統合となると単に学校だけの問題じゃなく、地域コミュニティもいろいろ関係してくる。いろんな大きな問題も絡んできますので、そう簡単にはいきません。中には、首長の選挙の公約で、統合を公約にして、県内でも幾つかそういう公約でやった所もあるんですが、私はですね、いろいろ話し合っていた中で、五霞町に小学校二つありますが、五霞町の教育にとってどれが一番いいのかということですね、皆さんで話し合っていて、それから地域コミュニティとを含めてですね。 それから、公共施設です。学校ですね、公民館もそうなんですが、いずれは老朽化していく。そういった中で、国の方からも公共施設の建て替えということで、計画を作りなさいということでテーマで出されております。学校を含めて、庁舎を含めて、いろいろ御提案もあるんですが、役場の庁舎が古くなっているのを建て替えるならば、「統合して学校の片方を使えばいい」というようなお話も出ているんですが、いろいろ含めて検討していかなくてはならないということでございます。 まず、この総合教育会議から、ここからいろいろ御意見出していただいて、どんな方向で、今後、PTAの皆さん、それから地域の皆さん

	んの意見も必要になると思いますので、それを今後進めてですね、五霞の教育の在り方が、どういうものが五霞町としていいのか、ということをごここで一度出しておかないと、いろんな事業に関係してきますので、その他の議題の中で、今後、進めていけたらと思いますので、提案させていただきたいと思います。 この件につきまして、何か御意見ありましたらお聞きしたいと思います。進め方として総務課長、何か案はありますか。
山中総務課長	今、町長からもありましたように、総合教育会議の目的の一つでございますので、そういう中で、前回の教育会議の中でもこれからのスケジュール的な、フェーズ 1、2、3 ということでお示しの方をさせていただきまして、その中で行きますと、事前に事務的な調査をさせていただく、あるいは、先進的なですね、取組をしている市町村の中で、既にスタートしていれば、当然、いい面、悪い面等もあると思われます。そういうものも聞いてくるのもいいと思います。 そういうことで、最初のフェーズ 1 の中に入れさせていただいております。それを踏まえて、そちらの方を検討して、次の調査に進めていく、ということでの案ということで、お示しさせていただいているものもございます。そういうものも含めて、先ほどの町長からの御提案も含めて、委員の皆さんから御意見の方いただければ有り難いと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。
染谷町長	一応ですね、一番基本は、議会の一般質問でも出てくるんですけれども、「町長、教育長の答弁を求めます。」と出てくるんですけれども、「やるか、やらないか」という話であれば簡単なんですけれども、そう簡単に答えを出せるものじゃありませんし、国の、今回「少子化だから統合を」という国の方針も分からないではないんですが、裏にはそれだけじゃない、財政的な問題も相当あるのかなと。 要は、「教員数を減らしたい。」というのが、やや見え見えなんです。自治体は、教員の人件費は持っておりませんから、国、県でやっていますから、自治体とすればですよ、ならば少人数で先生に来ていただいて、行き届いた教育をしていただくのが自治体の望みなんですけれども、国はそうじゃなくて、先生を減らしてですね、要は財政的な面もその辺でカバーしていきたい、というようなところが見え見えかなと思うんですが。 極端に少ない所、名前を挙げてしまっただけなんなんです、河内町は、この前、首長の選挙をやったんですが、その前、4 年前に出馬するのには、公約で「統合します」という公約で、新たに当選したのも

	ありますが、いろいろ統合するのにはですね、複式学級になっている所もあるんですよ。1年生が、4、5人しかいない、それに2年生と3年生を混ぜて一つの複式学級にしている学校もありますし、いろんな統合した所の条件もある程度、こう調査するとか、今、山中課長からありましたとおり、どういう条件でそうせざるを得なかったのかという面もね、しっかりと調査をして、「五霞町は、今この現状ではどうなんだ」という判断をね、父兄の皆さんに「どうですか」と聞いてもね、なかなか意見というのも出ないと思いますし、当然よそでやってきた状況、それら情報がある程度提供してあげないといけない。 その前には、その情報を勉強しないといけない、ということの流れになってくると思いますので、フェーズ1から3までありますように、この中でこの案で進めたらどうか、と思うんですがいかがですか。
千葉教育長	私、よろしいですか。今、町長、また、総務課長からお話ありましたように、県内では統合が進められております。少子化が、こうずっと進んでいて、五霞町も同じようにたどっているわけですがけれども、「じゃあ、五霞町はどうするんだろう」と自分でも思っている所なんです。 小学校、中学校ともに12学級以上を標準とする、となっているんですがけれども、現在、東小学校が9、西小学校が6、中学校が去年までは9だったのが6になりました。いずれも小規模校です。県内を見ていきますと、先ほどの河内も少ないんですがけれども、学校数が多いんですね。五霞は、小学校が2、中学校が1しかない。前は、小学校が一つ、中学校が一つでした。昭和47年頃ですかね。 統廃合のメリット、デメリット、皆さんも御存じだと思うんですがけれども、現在、統廃合がどのくらい進んでいるか、ということを調査しています。そして、統廃合が終わったとして、どういう結果になっているかということも、まだ1年か2年くらいしか経っていないのでは分からない。 去年、茨城町の青葉地区に行ってみたところでは、「こういう経緯で統合した」というところまでは分かったんですが、その後までは分からない。住民の意見を尊重してというか、収集すること、それは大切だと思うんですがけれども、そのような流れだと、みんな、「じゃあ統合だな」ということになっても「じゃあ、どのように」という話になると、みんな詰まってしまう。「大きな方が、小さな方を吸収するなら分かるけれども、そうじゃない。どうするんだ」と黙ってしまう

	んです。 茨城県議会便りが 1 月 26 日に出ていまして、これを読みますと、文教建設委員会ですか。そこで、「小規模校存続のための支援は」ということが書いてあって、「地域とか教育環境を踏まえて、存続の取組を支援する」ということで、「地域や子供の教育環境をよく踏まえた上で、小規模校の存続に取り組む市町村に対し、支援していく」という答ですかね。回答が出ていますので、流れに乗って、すぐに意見を聴いて「統合しましょう」とか「統合しないでこのまま行きましょうか」ということではなくて、もう少し時間を頂いて、経過を見ることも必要ではないかなと思います。 また、ここで経過を見て決めたんでは、広い人たちの意見ではないので、実際に「町立学校の在り方についての検討委員会」そういうものも立ち上げながら、経過を見ていく。今日、明日すぐに、ということではなくて、もう少し時間が必要ではないかなと考えているところでございます。
染谷町長	まあ、あの一、ここにフェーズ 1、2、3 までありまして、これを見ますと、流れ的には、こんな形で進めることでいいのかなと思うので、まず、この五霞町の課題整理、それから、日本全体の状況と町のこれからの人口の推移、それらを含めて次の機会でもいいので、このメンバーで勉強する機会を設けていただけたらいいのかなと。 どうですか。ここから始めていかないと、町の状況をつかまないと、また、これからの推移もつかまないとならないですし、一応、そんな方向でスタートさせていただくと。また、教育長からありましたようにですね、急いで外に出しても、話がおかしな方向に行っちゃうと、ブレーキが利かなくなっちゃうものですから。 このような話を出すと、すぐ「統合か」って話になっちゃいますから、そうでなくて、しっかりとした情報を我々よくつかんで、次に広げるとしても手順を踏んでいかないと、と思うんです。
小村委員	前回の時に、少子化ということでそういう話が出ていたと。五霞町の第五次総合計画、この後期の 3 年、これについての進展状況について教えていただければと思います。

染谷町長	はい。後期計画は10年で、残りは実質2年なんですね。今年を入れると3年ということになります。全てが、もう実行期に入っていると。だから、もう計画段階というよりは、計画をいかに実績にしていけるか、ということで、最後の段階に来ておりますから。 第六次を、今、有識者会議をお願いしているんですが、大学の先生に入っていて、これも出た意見で、即やらなければならないもの、それから中期的にやるもの、また、長期でやるもの。そういうものに分けて、今、計画をですね、意見を頂いた中で中身を分けていこうと、やっていますので、第五次が「新たにここで何を」というのは、緊急性のあるものは、来年にでもすぐに入れなくてはならないんですが、こちらについては、長期的なビジョンでやっていくと。 それから、公共施設の見直し。建て替えとか老朽化とか、もろもろあります。これらについても、国の指導が来ておりますので、それらも合わせて検討しなくてはならない、ということで、第五次はですね、後はいかに実績にするかという所にきていますので。 今年度あった空調の件もですね、何とか間に合ったかなという感じで、学校関係では、第五次の中で大きく計画してそのまま残っているというのは、おそらく無いんじゃないんだろうかと思うんですね。大体、ほぼ計画どおりに来ているかなと。そんな状況です。
小村委員	キューピーの方に住宅地を作るという計画は。
染谷町長	それらも、今後の話し合いの、計画の中で町の方からは出させていただきます。漠然と作るのではなくて、全部調査をさせていただきました。地方創生事業の中で、五霞町だけでなく、周りの動向も含めて、周りのマンションが埋まっているのか空いているのか、これらもいろいろ調査しないとなりません。 その調査結果は、もう出ておりますので、それらも含め、それから人口も含め、それらを題材に検討させていただきたいと思います。プランの中に入っていますから、それらを見ると西小学校はこれから増えるんだと予測できます。前段として、この前立ち上げたんですが、空き家をまずは利用しようということで、弁護士さん、宅建の資格を持っている人、皆さん入れて10人だったと思ったんですが、組織を立ち上げました。 今、空き家が、84件あるんですね。まず、そこに入ってください。栗原不動産さんが、宅建の資格を持っておるんですが、7件の建売が即完売するなど動きが良くなってきていて、五霞町の位置付けも良くなってきた、という面もありますので、それらも今後住んでいただ

	くためにはいい材料になるのかなと。 いろいろ含めた、いろんな角度から、ただマイナス思考だけでなく、プラスの方向、人口が増えるということも考えていかなくてはならないので、今後検討していただくようお願いしています。その材料は町にはあると思います。検討材料を町から提供させていただいて、皆さんでいろいろ御意見を頂くと。 そのほかは、何か事務局の方はないですか。無いようでしたら、以上で。
鳩貝主幹	長時間にわたりまして、非常に貴重な御意見を頂きましてありがとうございました。次回の会議につきましては、また事務局の方で調整させていただきまして、御連絡の方をさせていただきたいと思います。それでは、以上をもちまして第1回五霞町総合教育会議を閉会いたします。本日は大変お疲れ様でした。